

掲載内容

営業情報

- Meta Imaging Series バージョン 7.8.13 がリリースされました
- Photometrics 社製 EM-CCD “EVOLVE”の限定 1 台限りの在庫品を特価販売します
- 2016 年度定価表について
- MetaMorph のプラグインモジュールとして、機械学習を用いた画像自動分類ソフトウェア「LP-Classifier」がリリースされました

技術・サポート情報

- Meta Imaging Series Software の Windows10, XP の対応状況について
- DAQ ボード(アナログ信号出力ボード)の機種変更のお知らせ
- デノイズソフトウェア Safir の起動不良の対策法について
- 浜松ホトニクス社製 ORCA-Flash 4.0 LT 使用時について

その他

- SalesNote の隔月化(四半期毎)につきて

はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

- Meta Imaging Series Administrator について(5)

営業情報

Meta シリーズ V7.8.13 アップデータのリリース情報

Meta Imaging Series バージョン 7.8.13 がリリースされました。
メンテナンス期間内の Meta Imaging Series ソフトウェアは、下記 URL からアップデートファイルをダウンロードして、バージョン 7.8.13 にアップデートすることができます。

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/>

こちらから ID 番号を入力してLogin し、「7.8.13 Update」をクリックします。

※ 32bit OS をご使用の場合は、「MM7813-32.zip」になります。

※ 64bit OS をご使用の場合は、「MM7813-64.zip」になります。

メンテナンス期間はID (System ID, 4桁または5桁の番号)ごとに異なります。

メンテナンス期間は、

<http://www.meta.moleculardevices.com/Authorize/>

から、Versionの選択とSystem IDを入力することで確認することができます。

STEP 3に期限の日付が表示されます。

バージョン 7.8.13 の主な更新は下記になります。

Leica

・デジタルカメラ DFC3000G をサポートしました

DOC CAM

・カラータイプの CMOS カメラ“U3-23S6C-C”をサポートしました

CREST

・ディスクコンフォーカルユニット+超解像モジュールの X-Light V2 with VCS をサポートしました

Thorlabs

・電動精密回転ステージ PRM1-MZ8E をサポートしました

・3 軸コントローラー“MCM3000”をサポートしました

その他軽微なバグの修正など

Photometrics 社製 EM-CCD “EVOLVE”の限定 1 台限りの在庫品を特価販売します

Photometrics 社製の EM-CCD カメラ“EVOLVE”の在庫品を現品 1 台限りの特価販売をさせていただきます
先着順となりますので、ご興味のある方、及び価格等は当社担当までお問い合わせください



2016 年度価格表につきまして

2016 年 4 月 1 日より、Meta Imaging Series Software を始めとする弊社取扱製品の定価が刷新されます。新定価表は作成でき次第、配布させていただきますが、現在の 2015 年度の定価表における価格は、2015 年 3 月 31 日までのご発注分までとさせていただきます。ご了承ください。

2016 年度の Meta Imaging Series Software の価格ですが、原価高により誠に申し訳ありませんが若干の値上げとなりますが、ユーザー様及び販売店様のご要望にお応えして、本年度より、メンテナンス有効期間を 1 年から 3 年に延長させていただきました。

例:

MMACQMIC w/31281x2

MetaMorph データ取得ソフトウェア 3年間メンテナンス

(MetaMorphBasicベース、カメラドライバ、電動顕微鏡制御ドライバ、多次元データ取得/表示機能の構成)

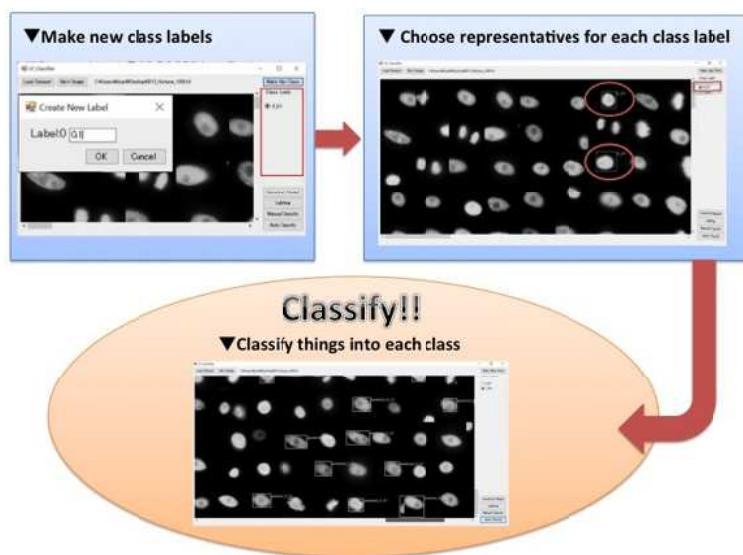
定価:¥1,600,000

これにより、ご購入後のドライバの追加、新規ハードウェアなどの対応に対するコストを抑えることが可能です。

なお、MetaFluor、MVDOC 及びオフライン MetaMorph の MMPOCH は従来通りの 1 年間のメンテナンス期間となります。

MetaMorph のプラグインモジュールとして、機械学習を用いた画像自動分類ソフトウェア「LP-Classifer」がリリースされました

この度 LPixel 社より画像に写っている細胞や組織などの種類をユーザーの研究目的に応じて自動画像分類機をモジュール内で作成し、作成した分類器を用いることで、膨大な画像の評価を自動化し、解析のスループットを格段に向上可能なプラグインモジュール「LP-Classifer」がリリースされました。



詳細については(<http://lpxel.net/2016/03/17/2615/>)からご確認いただけます。また、処理過程を Youtube にて(<https://www.youtube.com/watch?v=J0CsaH9LtX4>)からご覧いただけます。

定価は 500,000 円(税別)となります。

技術・サポート情報

Meta Imaging Series Software の Windows10 の対応状況について

Windows10:

2016年3月現在、MetaMorphを始めとする Meta Imaging Series Software は Windows10 に対して、正式なサポート開始はしていませんが、各種オフラインでのご利用は可能です

カメラや各種ハードウェアを制御するオンラインでのご利用は、現時点で各種ハードウェアメーカー様からのドライバが Windows10 へのサポートを行っていないものがほとんどの為、ご利用いただけません。

なお、Windows10 はアカウントが Microsoft 社の Web 経由で登録するユーザーID 名で登録されます。

MetaMorph は米国社製ソフトウェアの為、アカウント名が日本語や全角フォントの英数文字を含んでいるとインストールができない事がございます。

アカウント名の変更は Windows7 と異なり Windows10 は操作が非常に煩雑ですので、MetaMorph をインストールされる予定の Windows10 マシンをご用意の場合、アカウント名称は半角英数文字であらかじめご登録頂くようお願いいたします。

WindowsXP:

MetaMorph の起動時、特にハードウェアを制御する際 MetaMorph は Windows の各種 DLL を使用しますが、現在の Ver7.8 シリーズ以降、使用する DLL もかなり更新されており、すでに更新が止まっている XP においては一部のカメラを制御する際、エラーが表示され MetaMorph がシャットダウンするケースがございます。

オフラインでのご利用は現状、ほぼ問題ございませんが、今後 Windows の更新に伴う Meta Imaging Series Software の更新によっては XP でのご利用が年々難しくなると思われるので、セキュリティの問題も含め、OS の更新をお勧めいたします

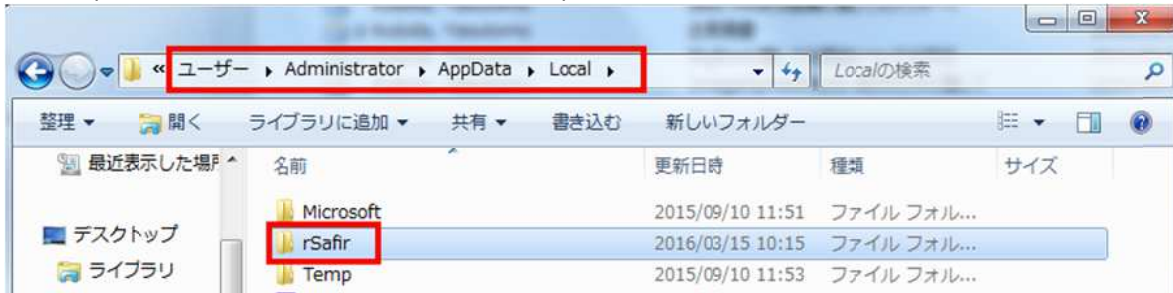
DAQ ボード(アナログ信号出力ボード)の機種変更のお知らせ



Piezo フォーカスユニットや一部の AOTF コンバイナ等にご利用いただいていますアナログ信号入出力ボード DAQ ユニットですが、従来は PCI32 バスを利用したボードの供給をさせていただいておりましたが、PC のマザーボードに PCI32 バスが無い物が増えてきましたので、新たに MetaMorph でサポート開始をした USB インターフェイスの DAQ ユニットの供給を始めさせていただきます。
価格については別途担当までお問い合わせください。

デノイズソフトウェア Safir の起動不良の対策法について

MetaMorph の機能拡張として高い評価を頂いているデノイズソフトウェア Safir ですが、インストール先の PC によってはまれに Safir の起動ができないケースがあります。その場合、C:\ユーザー\Administrator\AppData\Local に存在する“rSafir”フォルダを削除してください(下図は Windows7 で示しています)



複数のアカウントがある場合、Administrator フォルダに無い場合があります。その場合フォルダ検索で確認し、ユーザーフォルダ内にある複数のアカウント名フォルダの中にある rSafir フォルダを削除してください

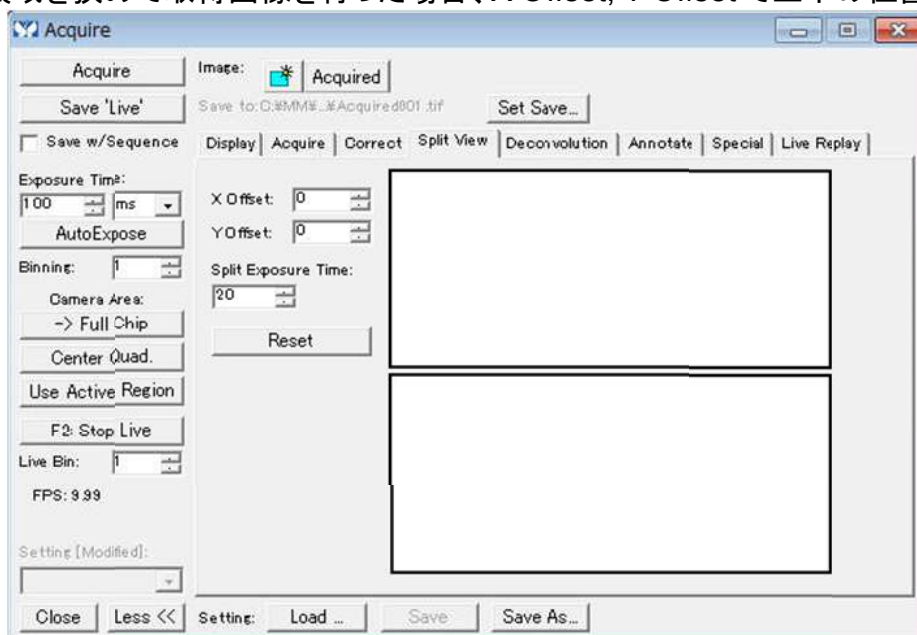
削除後、MetaMorph を起動し Safir が起動できるようになります。

浜松ホトニクス社製 ORCA-Flash 4.0 LT 使用時について

浜松ホトニクス社製 ORCA Flash 4.0 LT でツインカメラモードがバージョン 7.8.12 から使用できるようになりました。ツインカメラモードにした場合、下記のように Acquire ダイアログに Split View タブが表示されます。

この中で上下分割した画像それぞれの露光時間(Exposure time)を設定することができます。画像上半分は通常の Exposure time 入力で設定、画像下半分は Split Exposure time 入力で設定します。

領域を狭めて取得画像を行った場合、X Offset, Y Offset で上下の位置をずらすことができます。



その他

SalesNote の隔月化(四半期毎)につきまして

昨年まで毎月リリースさせていただいておりました本 SalesNote ですが、2016 年より年 4 回の四半期毎のリリースとさせていただきます
四半期ごとの隔月化とはなりますが、さらに役立つ情報を提供させていただきますので、ご了承の程、よろしくお願いいたします

以 上